

平成26年度事業報告

平成26年度は、平成26年3月の第3回理事会の議決を経た事業計画に基づき、橋梁点検技術研修会、橋梁保全に関する調査研究等の自主研究、講演会、セミナー、助成、国内外の支援活動および橋梁の点検・検査（診断）業務を実施した。

1 実施事業等

1-1 研修等

(1) 道路橋点検士技術研修会

橋梁の点検を行う橋梁点検員の技能を向上させるため、平成26年度は道路橋点検士技術研修会（旧橋梁点検技術研修会）を5回実施した。平成26年度の研修修了者は796名、平成6年度からの累計開催数は計73回で、累計の研修修了者は10,231名となった。併せて、当年度より道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、133名が受講した。

(2) 道路橋点検士制度

平成25年度に制定した道路橋点検士制度に基づき、平成26年5月より登録申込を受付け、2,992名の道路橋点検士の登録を行った。また、平成15年度以前の研修修了者を対象とした道路橋点検士切替技術研修会を全国6カ所計8回実施し、計380人が受講した。

1-2 自主研究

(1) 国際会議への参加

以下の国際会議に職員を派遣し、橋梁技術に関する意見交換、情報収集を行った。

| 会議名 | 日程 | 会議場所 |
|--|---------------|--------------------------------|
| PIARC(世界道路協会)Midterm 会議 及び国際シンポジウム講演打合せ | 6月25日～7月2日 | ウィーン(オーストリア) コペンハーゲン(デンマーク) |
| IABSE(国際橋梁構造工学会)2014 シン ポジウム及びフランス橋梁調査 | 9月1日～9月8日 | マドリード(スペイン) パリ(フランス) |
| 第1回国際橋梁会議 チリ2014 | 9月22日～9月27日 | サンティアゴ(チリ) |
| PIARC(世界道路協会)TC4.3 および長大橋セミナー | 10月19日～10月26日 | 上海(中国) |

(2) 賛助会員特別講演会の開催

平成25年度より賛助会員特典のひとつとして、業界の時事テーマを取り上げた講演会を年度初めに開催することとした。平成26年度は内閣府の和泉内閣総理大臣補佐官により「安倍政権の国土強靱化計画等」をテーマとして講演がおこなわれた。参加者は166名。

(3) 第2回国際シンポジウムの開催

平成25年度に引き続き、国際シンポジウム「世界の海峡連絡と橋梁のメンテナンス」を11月に開催した。講演では、国内外の講師から、各国の最新長大橋梁事業、メンテナンス状況が紹介された。参加者は384名を数えた。

(4) 橋梁メンテナンスセミナーの開催

平成25年度に引き続き、賛助会員を対象とした技術セミナーを2回開催した。6月に橋梁床版、2月にコンクリート橋の塩害をテーマとして、西川専務理事および話題提供者の講演と、参加者とのディスカッションをおこなった。本セミナーは賛助会員の特典のひとつとして、テーマを絞り、より深い議論ができる場として今後も継続する。

(5) 助成

① 橋梁技術に関する研究開発助成

橋梁技術に関する研究開発についての計画を公募し、優秀計画と認められる応募者2件に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

② 国際会議への参加に関する助成

国際会議において発表する予定の橋梁技術に関する論文を公募し、応募者3件に対して会議参加費用等の一部を助成した。

(6) 支援活動

① 国際会議等への協力

PIARC（世界道路協会）TC 4.3（道路橋）委員会の計画・調整を行うとともに、同委員会の運営を行った。

② JICA研修への協力

JICA等が実施する途上国技術者に対する国際協力研修に講師を派遣して協力を行った。

| 研修名 | 時期 | 参加人数 |
|----------------------------|-----------|------|
| JICA研修「総合橋梁コース」 | H26.10.10 | 18名 |
| エジプト国別研修「橋梁維持管理技術向上プロジェクト」 | H26.11.10 | 5名 |

1-3 広報

(1) 機関誌「J_BECレポート」の刊行

機関誌「J_BECレポート」Vol.10を刊行した。

(2) ホームページを活用した広報

平成25年度に刷新したホームページの更新頻度をあげ、広報を強化した。

(3) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局管内で実施された建設技術展などのイベントに参加し、橋梁の点検技術等に関する展示を行った。

2 その他事業

2-1 調査研究業務

(1) 橋梁の検査（診断）業務

国土交通省の「橋梁定期点検要領」に基づき、橋梁点検業務の指導、点検に基づく検査（診断）業務、橋梁管理カルテの更新及び平成26年6月に改正された「橋梁定期点検要領」及び道路法改正に伴い制定された「道路橋定期点検要領」に対応した診断を行った。

(2) 橋梁の補修・補強に関する調査研究

橋梁の特定症例である「鋼橋の疲労」について、詳細調査を行い、損傷状況の把握と補修・補強方法の検討を行った。

(3) 自治体の道路橋維持管理手法改善の支援業務

地方自治体の橋梁メンテナンスサイクルについて現状の調査及び検証を行うとともに、ICT技術を活用した新たな維持管理手法の提案を行った。本業務は継続業務として今後も受注予定である。

(4) 次世代社会インフラ用ロボット開発導入の支援業務

ロボットによる橋梁点検の実施可能性を検証するため、現地検証実験の開催、各参加者の評価、評価委員会の運営等の支援を行った。本業務は3カ年にわたり実施される予定である。

(5) 離島架橋に関する調査研究

沖縄県伊平屋伊是名架橋に関する経済調査を行い、架橋実現性に一定の成果を得た。

(6) 橋梁現場アドバイザー業務

国道事務所等において、橋梁現場アドバイザーによる現場支援業務を実施した。

(7) 新調達方式のための技術支援業務

四国地方整備局の総合評価方式による発注において、橋梁工事の入札評価手続きに関する発注者支援を実施した。

(8) 道路アセットマネジメント検討業務

橋梁へのアセットマネジメントの導入に向け、他機関の事例、劣化予測の考え方、ライフサイクルを意識した基本事項を整理し、課題の抽出とその対策について検討を実施した。また、既往の点検・診断事例を整理し、経年変化や地域性の把握を実施した。このほか、ICT技術の予防保全への活用についての提案を行った。

(9) 道路橋の点検情報の活用に関する検討業務

道路局より提供を受けたストック総点検結果について整理を行い、統計的分析を行うとともに、蓄積データの活用方法について提案を行った。

2-2 地方整備局及び地方自治体の人材育成業務

(1) 地方整備局現場研修支援

地方整備局の委託に基づき、国土交通省等の技術職員を対象として、橋梁の維持管理に関する研修を実施した。

(2) 地方自治体の長寿命化修繕計画に関する橋梁技術講習会

地方整備局の委託に基づき、地方自治体の職員を対象として、長寿命化修繕計画に関する橋梁技術講習会を実施した。

2-3 出版

(1) 「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」の発刊

コンサルタント、メーカーなどの技術者の協力を得て原稿を作成し、平成26年11月鹿島出版会より出版し、J B E Cにおいても販売中である。

(2) その他

「既設橋梁の耐震補強工法事例集」他の図書の販売を行ったほか、「保全技術者のための橋梁構造の基礎知識〔改訂版〕」の執筆・編集を行った（平成27年5月発刊）。

なお、「既設橋梁の耐震補強工法事例集」は在庫が無くなった時点で廃刊とした。